（別添資料１）

事業所名　Lapin

支援プログラム（参考様式）

作成日　2026 年　10 月　1 日

法人（事業所）理念		一人ひとりのペースでステップアップ、心からリラックスできるもう一つの居場所			
支援方針		子ども一人ひとりの発達段階や特性、本人・ご家族の希望を丁寧に把握し、安心できる環境の中で成功体験を積み重ねられるよう支援します。 日常生活、遊び、学習、運動、集団活動、地域での体験等を通して、5領域を総合的に支援します。また、本人の「やってみたい」「伝えたい」という気持ちを大切にし、自分で考える・選ぶ・伝える経験を増やすとともに、友達や職員との関わりを通して社会性やコミュニケーション力を育みます。家庭・学校・相談支援事業所・関係機関等とも必要に応じて連携し、将来の自立や地域生活を見据えた切れ目のない支援を行います。			
営業時間		13 時 0 分から 17 時 15 分まで		送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	来所時の健康状態や表情、疲労等を確認し、安心して過ごせる環境を整えます。手洗い、うがい、排泄、着替え、食事、身支度、片付け等、日常生活に必要な動作の習得を支援します。予定表やスケジュールを活用し、一日の流れを確認しながら見通しを持って行動できるよう支援します。自分の持ち物の管理や準備、片付け等を自分で行う経験を増やします。自分の体調や疲れ、困っていること等を職員へ伝えられるよう支援します。安全に生活するためのルールや交通ルール、送迎時の約束等について伝えます。			
	運動・感覚	粗大運動や運動遊びを通して、体幹、バランス、身体の使い方等を育みます。ボール遊び、サーキット、鬼ごっこ等を取り入れ、楽しく身体を動かす機会を設けます。工作、折り紙、塗り絵、ひも通し、箸や道具を使用した活動等を通して、手指の巧緻性を高めます。本人の感覚特性に配慮し、安心して活動に参加できる環境を整えます。身体を動かす活動と静かな活動を組み合わせ、気持ちの切り替えや調整につなげます。			
	認知・行動	活動の予定や手順を分かりやすく提示し、見通しを持って行動できるよう支援します。時間、順番、数量、大小、位置、色、形等について、遊びや日常生活の中で理解を深めます。 ゲームや課題を通して、ルールを理解する、考える、工夫する、最後まで取り組む力を育てます。本人が選択できる場面を設け、自分で考えて決める経験を増やします。予定変更や思いどおりにならない場面では、職員が気持ちを整理しながら、適切な行動へ切り替えられるよう支援します。			
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちや要求、困っていること等を、本人に合った方法で伝えられるよう支援します。職員との会話や友達との遊びを通して、言葉のやり取りを楽しむ経験を増やします。相手に分かりやすく伝えることや、相手の話を最後まで聞くことを支援します。「貸して」「一緒に遊ぼう」「やめて」「手伝って」等、生活の中で必要な言葉を実際の場面で身につけられるよう支援します。本人の発達や理解に応じて、絵、写真、選択肢、ジェスチャー等も活用しながらコミュニケーションを支援します。活動後の振り返り等を通して、自分の経験や気持ちを言葉にする機会を設けます。			
	人間関係 社会性	職員との安定した関係を築き、安心して過ごせる居場所づくりを行います。友達と一緒に遊ぶ、協力する、役割を持つ等の経験を通して、人との関わりを楽しめるよう支援します。順番を待つ、貸し借りをする、ルールを守る等、集団生活に必要な力を身につけられるよう支援します。相手の表情や気持ちに気づき、自分と相手の気持ちの違いについて一緒に考えます。友達とのトラブルがあった際には、一方的に注意するのではなく、それぞれの気持ちを整理しながら解決方法を一緒に考えます。係やお手伝い、リーダー等の役割を経験し、人の役に立つ喜びや自信につなげます。地域での活動や外出を通して、公共の場でのルールやマナーを学びます。			
家族支援		日々の連絡帳や送迎時のやり取り、面談等を通して事業所での様子や成長を共有し、家庭での困りごとや子育てに関する相談にも対応します。保護者の気持ちや負担にも配慮しながら、家庭と事業所で共通した関わりができるよう支援し、必要に応じて関係機関とも連携していきます。	移行支援	進級や進学、卒業後の生活も見据えながら、学校生活や地域生活の中で必要となる自己管理、時間管理、持ち物の管理、コミュニケーション等の力を育てていきます。本人の年齢や発達段階に応じて、自分で選ぶ、決める、困ったときに助けを求めるといった経験を大切にし、地域の中でも安心して過ごせる力につなげていきます。また、必要に応じて学校や進学先、相談支援事業所等の関係機関と情報共有を行い、本人の特性や有効な支援方法を共有しながら、切れ目のない支援につなげていきます。
地域支援・地域連携		学校や相談支援事業所、医療機関等の関係機関と必要に応じて情報共有を行い、本人に合った支援について共通理解を図ります。また、公園や公共施設等の利用を通して、地域での経験や社会性、公共の場でのマナーを身につけられるよう支援します。	職員の質の向上	事業所内研修や外部研修を通して職員の専門性向上に努め、虐待防止、身体拘束、感染症対策、災害・送迎安全、事故防止等について定期的に学ぶ機会を設けます。また、日々の支援やヒヤリハット等を職員間で共有・振り返りし、支援方法の統一と安全な支援につなげていきます。	
主な行事等		・季節行事（七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分等）・農作業・誕生日のお祝い・公園や公共施設等への外出活動・地域交流・社会体験・買い物体験・調理・おやつ作り・工作・制作活動・運動遊び、レクリエーション・SST（ソーシャルスキルトレーニング）・協力ゲーム、集団活動・長期休暇中の特別活動・避難訓練、防犯訓練、交通安全等の安全学習※行事や活動については、利用児童の年齢、特性、体調等に配慮しながら実施します。			